

百花絢爛の歩 &
1000 歳の樹々

小泉友美
KOIZUMI T

目次

百花絢爛の歩& 1000 歳の樹々	1
-----------------------------	---

百花絢爛の歩& 1000 歳の樹々

フランス式庭園は、幾何学的で実に数学的な気がします。
左右対称に作られ、すべてが的確であり、歩いて、思考が整えられる様な気がします。
様々に、ふつふつと湧き出る想いを、綴ってみました。

クロード・ モネのジヴェルニー (Giverny) の庭

画家のモネは 1883 年に、このパリ校外のジヴェルニーに来て、野生の花々乱れ咲く庭を造りました。緑色の日本橋の下に咲く睡蓮の花の絵は、世界的に有名です。

時を忘れて
パスカル・ カラーの帽子が
浮いたり沈んだり
まどろんで渡る夢の浮橋...

まどろんで
光の蓮に
夢の浮橋

シュノンソー城 le château de Chenonceau

水面に浮かぶ様な白い貴婦人: ロワールのシュノンソー城は、70 ヘクタールの庭に囲まれ、畑 (clos)、迷宮風庭園、菜園、2 つの庭、ラベンダーとオールド・ ローズの四角い庭園があります。

白と黒の
廊下に舞う
時を告げ忘れた 陽炎

紫に
染めゆくままに
幽身の姫

クレーパープ Crech pape

ブルターニュのコート＝ダルモール県に、1980 年代英国風の庭園・クレーパープが造られました。

紫・黄色といった色の濃い植物がテーマごと植わっています。

煙るがごとく
濃紫の雫を
身に受けるまま

ロズレ・デュ・ベルティ Roseaie de Berty

1984 年に、アルデーシュ県の川と森に囲まれたこの薔薇園は、600 株のオールド・ローズや新種の薔薇が咲いています。

蔓薔薇の小さな花卉の群れは、まるで楽しがる子ども達の笑みの様です。

赤子たち
笑い集いて
薔薇園に

ラ・シャトニエー アゼ＝ル＝リドー城

La chatonnière Azay - le - Rideau

ひなげしの紅い花が、無造作に咲き乱れる野原が、ロワールのアゼ＝ル＝リドー城の眠れる美女の城に映っています。

紅々と
ざわめく風に
睡りゆく

ヴィランドリー城 Le jardin du soleil du château de Villandry

ロワールのルネサンスの城、ヴィランドリー城の屋上庭園は、太陽の庭と呼ばれています。

菩提樹に真っ青な野草の濃淡がノスタルジックです。

太陽の庭
追いかけるまま
青い月が泣く

ロスコフの庭 Le jardin exotique de Roscoff

ブルターニュの Roch Hievec 海岸の、1986 年に造られた 1.6 ヘクタールの庭。
メキシコ、南半球の植物で賑わっています。
つんと天上を向いて、ルピナスが群生し、蝶が群らがっている紺碧の海岸です。

絶壁に
青白別れ
そちら 咲く

パリ・リュクサンブール庭園 Le jardin du Luxembourg

パリのカルチェエ・ラタンに広がるフランス式幾何学庭園で、ギリシャ神話の彫刻が群
れています。
人の出入りが絶える事はありません。

人あれば
群れゆく石像
ともに 埋もれし

テューソンの中世修道院の庭 Le jardin monastique médiéval de Tusson

16 世紀の修道院跡地の庭に、ハーブ、薬草、畑が広がっています。

真四角に
祈りをこめて
摘みゆく 薫り

オルソン聖母修道院 Prieuré Notre Dame d'Orsan

シェール県の 12 世紀オルソン聖母修道院は、噴水を中心にした緑の回廊に、薔薇の庭があります。

目眩あり
行きつ戻りつ
回廊に

ロワールのヴィランドリー城 Le château de Villandry

1536 年のルネサンス期最後のロワール城の庭は、イギリス庭園です。
四季折々の、装飾的な野菜と花畑。
愛の寓話 (優美さ、情熱、悲劇) のテーマの庭があります。

涙ありて
微笑みありて
はじまり
終わり めぐり逢う
愛の寓話

1000 歳の樹々

森林を何も考えずに歩いてゆくと、道の無い道が、1 つの樹となって導いてゆく気がします。

イチイの木 (Taxus baccata)

イチイ科イチイ属の針葉樹で、Taxus は、ギリシャ語で弓を意味します。イチイから作られた弓は、最強の武器として重宝されました。
ギリシャの医師ディオスコリデス曰く、イチイの木の下で眠ると死んでしまうという言い伝えがあったり、古代ギリシャでは、イチイの木は黄泉の国につながる扉と信じ、埋葬地にはイチイの木が植えられて、生と死の木とみなされていました。

殖魂の根に
矢をはじくまま
黄泉かえる

菩提樹 Tilia miqueliana

30 メートルにもなる大木で、樹皮は暗灰色で、強く甘い芳香があり、淡黄色の花は、ハーブ・ティーとして飲まれます。

菩提樹は、愛、友情の象徴で、中世ヨーロッパの宮廷詩人達は、菩提樹を宮廷愛の象徴としました。

仰向けに
光にどんどん染まっていく
菩提樹の根元にあって

見上げれば
行方知れずの
星を追う

完

2026 年 8 月 9 日 フランス・ オーヴェーニュ 平和 祈

百花絢爛の歩 & 1000 歳の樹々

著 者 小泉友美 Koizumi Tomomi

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
